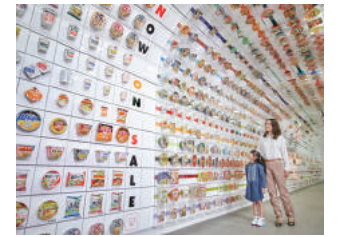


ミューズナビ 🔍



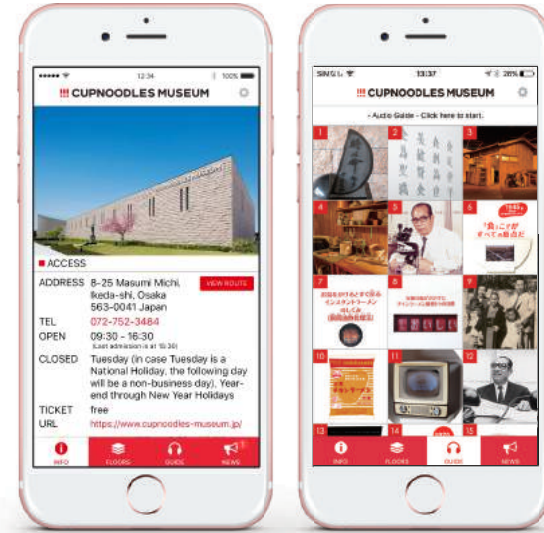
多言語音声ガイドアプリ「MUSENAVI」

スマートフォン一台あれば身の回りの用事が事足りて、携帯品が極端に減る時代、たとえば音楽プレーヤーは要らないし、地図も不要ということにはもはや当たり前のようになって、美術館や博物館などの大型施設もスマートフォン之恩恵を最大限活用していくことは、自然な流れでもあるのだろう。もしかすると近い将来、展示の風景も様変わりするかもしれない。

たとえば、音声ガイドである。これまで、①貸出専用の窓口でレンタルする②装置を持ち歩きつつ、気になる作品の前で掲出番号を押し③最後に返却する④という3ステップが必要だったが、多言語音声ガイドアプリ「MUSENAVI」なら、利用者が自分のスマートフォンにダウンロードし、アプリを開くだけで、独自のビーコン機能を追加



すれば、ナビやガイド表示、自動再生なども可能になる。しかもアプリなので装置のメンテナンスの必要はなく、従来のコストを安く抑えられるなど導入館からの評判も高いようだ。その中から、今回は「カップヌードルミュージアム 大阪池田」の事例を紹介する。



導入事例 — カップヌードルミュージアム 大阪池田

世界初の「カップ麺」として世界中で愛され続ける「カップヌードル」。その歴史などを紹介する当ミュージアムには、以下のような課題があった。

- ① 海外からの来館者増加に対応したい
- ② 日本のお客様へ更なるガイド充実を図りたい
- ③ 来館者の増加による従前のガイド機の台数不足や消耗へ対処したい
- ④ 来館者の利用実績、反応や感想をもとにコンテンツを継続的に改善したい

これらの要望のすべてを満たすことのできるアプリとして選ばれたのが「MUSENAVI」である。日本語以外にも、比較的必要性の高い言語である英語・中国語に対応し、上映画と連携した「多言語コンテンツの再生」や「プッシュ配信」といった利用者サイドへのホスピタリ

ティの高さに加え、コンテンツの視聴傾向や施設への流入分析へつなげる仕組みなど管理サイドにとつての「使い勝手の良さ」も、トータルにサポートしていることが導入の決め手となった。

施設のコンセプトイメージにあわせ、施設やWEBサイトと同じようなアプリデザインにするなどのニーズにも柔軟に対応し、クラウド型のサービス提供の特徴である「簡単な操作でデータの入れ替えができる」など、保守業務の負担軽減も図られて

いる。
「重厚長大な」音声ガイド装置に比べ、柔軟な対応ができる「MUSENAVI」を導入し、理想的な「おもてなし」へ向けて大きく踏み出している。

● カップヌードルミュージアム 大阪池田
1958年8月25日、日清食品創業者・安藤百福は、大阪府池田市の自宅裏庭に建てた小さな小屋で、ありふれた道具を使って研究を重ね、世界初のインスタントラーメンである「チキンラーメン」を生み出した。そして、世界に広めるためのカギは食習慣の壁を越えることにあると気づき、さまざまな知恵と革新的な発想を結集した「カップヌードル」を発明し、日本で生まれたインスタントラーメンは世界食に生まれ変わった。

1999年、インスタントラーメン発祥の地、大阪府池田市に開館した「カップヌードルミュージアム 大阪池田」では、新しい食文化となったインスタントラーメンの歴史を通じて、発明・発見の大切さを伝えている。

住所：大阪府池田市満寿美町8-25
電話：072-752-3484
入館料：無料

PEOPLE SOFTWARE 私たちは感動価値創出企業を目指します
ピープルソフトウェア(株)

お問い合わせ・資料請求はお気軽に ☎ 0120-960-228 (通話料金無料)
携帯番号からは 086-426-5932 (通話料金がかかります) 受付時間 9:00~18:00 (平日)

岡山本社：岡山県倉敷市阿知1-7-2
東京本社：東京都千代田区神田神保町4-3-12
大阪オフィス：大阪府大阪市都島区片町2-2-40

ミューズナビ 🔍 <https://www.musenavi.jp/>

※画像はすべて©日清食品ホールディングス